

9 美しい田園景観(歴史的施設の保全)

長い歴史を持つ土地改良施設は、農業の財産でもあり、また、風景・文化をつくる貴重な地域の財産でもあります。

京都の歴史的な施設である一の井堰や大沢池などは、現在でもかんがい用の施設として地域の農業を支えるとともに、日本の伝統を伝え、世界中から訪れる観光客等に潤いや安らぎを提供しています。
一の井堰は農業用水を取る施設として、大沢池は農業用水の水源として、京都市右京区などの京野菜生産などを支えています。

一の井堰、大沢池付近図



一の井堰



5世紀後半に朝鮮の新羅から渡来した秦氏が築造し、昭和40年に現在の堰に改修されました。214haの水田や畑を潤すとともに、毎年5月の第3日曜日には、車折神社の三船祭が堰上流で船を浮かべて優雅に行われます。

大沢池



平安初期に築造されたため池で、中秋の名月には「観月の夕べ」が催されます。現在でも10haの農地を潤す農業用ため池として活用されています。



土地改良施設には、国の重要文化財に指定されたものもあります。

大分県の白水ダムは昭和13年に築造され、現在も約400haの農地に水を供給する一方で、その幾何学的造形美と築堤石材を流れ落ちる流水美が、国民文化の向上に役立つ国民共有の財産として認められ、国の重要文化財に指定されました。



環境を創る

白水ダム周辺図

